



12/26 パリパラリンピック・バドミントン競技選手が副知事を表敬訪問されました。



1/8 建築都市委員会で県営筑豊緑地のインクルーシブ遊具広場を視察しました。



1/1 「早良区新春のつどい」が開催され、集まった地域の皆さまに地域課題などお伺いしました。



1/18 女性の健康課題を解決する「フェムテック」に関するイベントに参加しました。



1/22 早良警察署にて桐原署長より、管内情勢について説明を受け、意見交換しました。



1/24 水岡俊一参議院議員を招き、不登校・多様な学びに関する勉強会を実施しました。



2/16 交通重点政策意見交換会に参加し、交通政策について学びました。



2/27 子育て支援・人財育成調査特別委員会にて札幌市立資生館小学校を視察しました。



3/1 福岡県立福岡工業高校の卒業式に出席しました。



3/8 国際女性デーで、リレートークに参加し、アピールしました。



3/8 早良区小笠木にあるオイスカ西日本研修センターの研修生修了式に参加しました。▼

ごとうかおり プロフィール



1979年 大分県日田市生まれ(八百屋の孫)
 1998年 大分県立日田高校 卒業
 2002年 愛知教育大学 教育学部(総合理学コース) 卒業
 大学卒業後、短大、専門学校にて勤務
 2014年 ふくおか女性いきいき塾 3期生
 2019年 福岡県議会議員 初当選
 2023年 福岡県議会議員 2期目当選
 南庄在住、夫と子ども3人、義父母の7人家族
 (趣味)カラオケ、マンガ、ヨガ、史跡めぐり
 ・「女性のための政治スクール」「パリアアカデミー」修了

子育て世代・女性の声を届けるため日々奮闘中!

福岡県議会 民主県政クラブ県議団 所属
 政策審議会事務局次長
 ● 建築都市委員会 副委員長
 ● 子育て支援・人財育成調査特別委員会 委員
 ● オイスカ国際活動促進福岡県議会議員連盟 副会長
 ● 福岡県森林・林業・林産業活性化促進議員連盟 幹事
 ● アビスパ福岡を応援する会 理事
 ● 福岡県住宅供給公社評議員
 ● 福岡県交通対策協議会委員
 ・ 特別支援学校福岡県対策会議 議長代行
 ・ 福岡県日中友好協会 理事長
 ・ 西区野球連盟 顧問 ・ 早良区少年愛護パトロール委員
 他にも、子ども会、福岡西部子ども劇場など、地域の皆さまと共に活動中!

福岡県議会 民主県政クラブ県議団 会派控室 〒812-8574 福岡市博多区東公園7-7県議会内
 TEL 092-643-3804 FAX 092-622-6203



福岡県議会議員 (福岡市早良区)

後藤香織 県議会報告

後藤香織 県政事務所

〒814-0022 福岡市早良区原3丁目17-38 五十三萬石ビル 2F
 TEL 092-832-6807 FAX 092-832-6808
 E-mail rikken.gotokaori@gmail.com



福岡県議会 2月定例会報告

2025年2月定例会は、2月4日から20日までの17日間の会期で開催されました。
 通常であれば、2月後半から始まり、予算特別委員会を含め3月末まで実施される2月議会ですが、今回は、3/6から知事選が控えていたため、日程が早く、来年度予算が4カ月間の暫定予算で、知事選後に本格審議となるため、期間も短くなっています。
 開会日に知事から、令和7年度福岡県一般会計暫定予算案、令和6年度一般会計補正予算など計59議案が提案されました。更に2月10日には令和6年度一般会計補正予算など計20議案が追加提案されました。
 代表質問、一般質問での審議、及び各常任委員会の審査を経て、定例会開会日に採決が行われ、いずれの議案も可決されました。



新しい県知事が決まりました!

3/6告示、3/23投開票で福岡県知事選挙が実施されました。
 立憲民主党推薦・現職の「はっとり誠太郎」が2期目に当選されました。
 投票率は、31.58%で、前回は上回ったものの、過去2番目に低い結果となりました。
 これからも2元代表制の一翼を担い、課題を踏まえながら、服部知事と政策議論を進めてまいります。

	福岡県 31.58%	早良区 33.82%
当 服部 誠太郎	1,036,280	47,157
吉田 幸一郎	209,416	10,519
新藤 伸夫	27,952	1,459
藤丸 貴裕	27,394	1,135



福岡市西区 県議補欠選挙結果

お隣・西区では、県議会議員補欠選挙が行われ、前県議の「にえだ元気」さんの後継として、秘書の「吉岡れい子」さんが、私たちの会派の仲間になりました。
 福岡3区の仲間としても、これから共に頑張ります!



子育て世代・女性の声を県政に! 働く者、生活者の声を届けます!

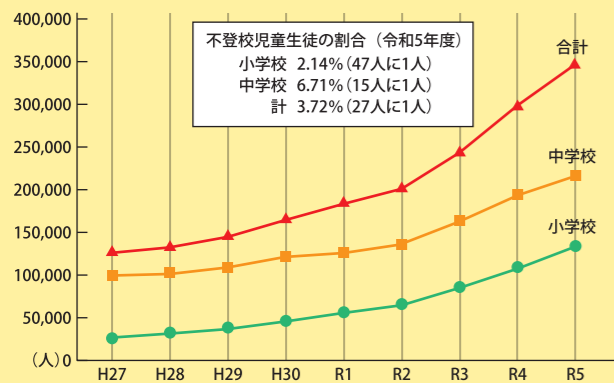
不登校児童生徒が急増。全ての子どもに多様な教育の機会確保を!

2016年にいわゆる「教育機会確保法」が成立し、2017年の施行から8年が経過しました。法では、学校に行けない・行かない「不登校」は問題行動ではないこと、登校することだけを求めるのではなく、その児童生徒1人ひとりに多様な教育の機会を確保することが重要だと謳われています。

不登校児童生徒の現状(全国)

義務教育段階の不登校児童生徒の数は増加の一途をたどり、2023年度の不登校児童生徒数は、小学校130,370人、中学校216,112人の合計346,482人で、過去最多。その割合は、小学校は2.14%で47人に1人、中学校は6.71%で15人に1人と、1クラスに1~2人。

■ 不登校児童生徒数の推移グラフ(全国)



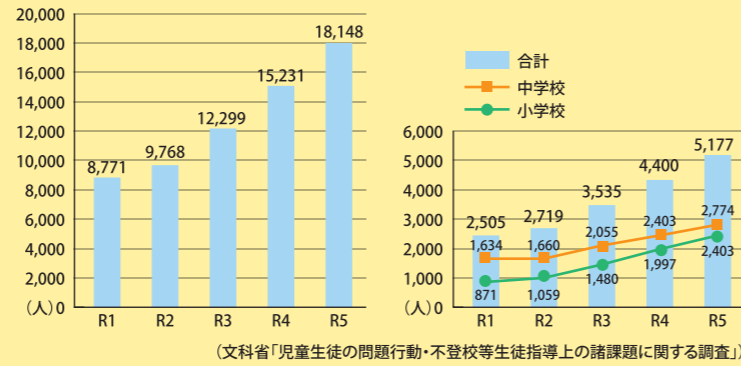
■ 学年別不登校児童生徒数



福岡県/福岡市の不登校児童生徒の現状

福岡県は、18,148人、うち、福岡市は、5,177人。

■ 不登校児童生徒数の推移グラフ(福岡県・左/福岡市・右)



後藤はこう考える! 不登校児童生徒への課題

後藤 本県の小中学校の不登校児童生徒のうち、学内・学校外、どちらの相談・指導も受けることができていない児童生徒が7,028名もいる。しっかり相談・支援につなげていくべきだ。

教育長 不登校児童生徒が悩みを抱えて孤立せず、適切な相談や支援を受けられるよう、これまでの不登校支援に係る事業の検証もしつつ、市町村教育委員会や不登校児童生徒の支援にあたる関係機関と連携して取組の充実を図っていく。

後藤 フリースクールなどの民間施設において相談・指導等を受けた不登校児童生徒4,849名のうち、指導要録上

出席扱いとされた人数は、約3割の1,387名と多くない。「出席扱い」を希望する児童生徒に対しては、できるだけ保障されるような取り組みが必要だ。

教育長 今後、これまでの本県における不登校児童生徒支援事業の成果等を踏まえ、各学校の判断の参考となるチェックリストを作成し、市町村教育委員会へ提供することでその判断がより適切になされるよう、支援する

後藤 不登校児童生徒の保護者に情報が届いていない。2024年11月にNPO法人が、不登校の子どもをもつ保護者を対象に実施したアンケートによると、8割以上の保護者が仕事に影響があったと回答し、およそ4人に1人が仕事を辞めたと答え、影響が大きい。不登校児童生徒の保護者に対し、情報の伝達や保護者同士をつなぐ取り組みなどの支援の強化は?

教育長 今後、アウトリーチ型個別支援や、保護者同士が悩みを打ち明けたり、専門スタッフからアドバイスを受けたりする取組の成果を広く県内に周知するとともに、不登校児童生徒の支援に関する情報が必要な方に届くよう、情報発信のあり方について検討を進め、保護者の悩みに寄り添った支援の充実につなげる。

後藤 不登校を要因とする保護者の離職などで収入が減る上に、出費は増える。学校以外の居場所に通う場合、その利用料、月額33,000円、年額にすると約40万円。家庭への経済的支援が必要。例えば、交通費については「出席扱い」となった児童生徒を対象に、通学定期乗車券制度、いわゆる「学割」定期を適用できるが、全国で、約3.8万人の出席扱いとなった小中学生のうち、通学定期乗車券

制度を利用できた人数は、790人しかおらず、本県では9名と非常に利用者が少ない。また、学校や保護者の中には「学割」は使えない、と認識している方もおり、その申請方法などが周知不足である。申請方法などの周知を強化すべき。

教育長 この制度について、家庭の負担軽減につなげるため、改めて、通知や各種会議、各学校の事務担当者を対象とした研修会の中で周知を図るとともに、不登校支援リーフレットに制度の内容を追記し、不登校児童生徒やその保護者に届けていく。

全国的に増加している、不登校児童生徒の課題について、支援する団体、当事者家族、不登校経験者の皆さんと意見交換をしたり、1月24日には、水岡俊一参議院議員を招き、勉強会を開催しました。こういった政務調査を重ね、2月13日に、一般質問しました。まだまだ、全ての子どもたちへの教育の機会確保、学びの保障は不十分。この約7千人全員を相談・支援に繋げていくためには、今回、質問した保護者への支援や経済的支援も必要になってくる。多角的な視点で、各市町村教育委員会などもしっかり連携し、県教委の指導・助言の立場を十分に発揮していただき、更なる支援の充実を行っていただくことを要望しました。複雑化する子どもたちを取り巻く環境について、アップデートして理解をし、誰一人取り残さない教育の実現に今後も取り組んでまいります。

質問内容の詳細については、[後藤香織オフィシャルホームページ](#)、または[福岡県議会ホームページ](#)にて動画、検索ができますので、ぜひご覧ください。



令和7年度暫定予算の概要

2025年度当初予算については、知事選挙の関係から、4月から7月までの4カ月間に必要な行政運営経費等を計上する「暫定予算」となります。今回はその一部をご紹介します。

福祉・子育て・女性

- 高齢者の健康の保持増進と適切な医療の確保、介護保険の安定化を支援 約485億円
- 新** 未来の保育の担い手確保に向けた取組を推進 約1,956万円
- 新** 産前産後の家事・育児の負担を軽減 約1,211万円
- 新生児検査を充実し、疾患の早期発見により発症を防止 1億200万円

経済・労働・暮らし

- 新** 県庁外来駐車場を一般に開放 約5,051万円
- 県有施設の脱炭素化を推進 約5億449万円
- 新** 新たなスタートアップ支援拠点「グローバルコネク福岡」を開設 約4,719万円
- 福岡市・北九州市へのアクセス向上を図る道路網を整備 約52億2,395万円

教育・子ども

- 新** 中学生の英語力向上を推進 約1,042万円
- 高校生へ県内企業の魅力を紹介し、就職・進学を促進 約4,395万円
- 安全・安心と教育環境の向上につながる学校施設を整備 約178億9,224万円

防災・安全

- 新** 災害リスク予測システムを導入 4,640万円
- 新** 野生のサルによる人的被害対策を緊急支援 約703万円
- ため池の安全対策を実施 約34億2,423万円
- 道路の渋滞緩和、歩行者の安全確保 約46億2,334万円
- 新** 警察の災害対応力を強化 約1,110万円

サルに注意!!

福岡市内では毎年4~9月にサルの目撃情報が多発しています。福岡市が把握する限り、サルによって人がけがをした事例は2023年の初確認以降、増加しており、昨年5月には早良区でも小学生男児が頭に軽傷を負うなどの人的被害が発生しました。人を恐れず、接近・攻撃してくる猿には特に注意してください!!

- サルを見かけたら、遭遇したら...**
- 目をあわせない・近づかない!
 - 大声を出さない!
 - 絶対にエサを与えない! ○走って逃げない!
 - 戸締りの徹底・不要な外出を控える



●「目撃・被害情報投稿アプリ」をご活用ください!
 サルやイノシシなどの出没情報が見える化する「福岡県鳥獣被害対策システム」が運用開始しました。目撃時に投稿していただくと、登下校時の子どもの見守りや、侵入防止柵の設置場所の見直し、ハンターによる捕獲ポイントの絞り込みなどといった、被害軽減対策の実施や注意喚起の一助となります。出没ポイントを地図上で確認することも可能です。ぜひご活用ください!

《早良区での目撃発生地区》
 早良地区、東入部地区、重留地区、四箇地区、内野地区、梅林地区、野芥地区 等

